沼津市立図書館

図書館だより

-NEW LIFE WORK-

沼津市三枚橋町９番１号　TEL:055－952－1234

http://www.tosyokan.city.numazu.shizuoka.jp/

No.121

図書館ホームページ　ぬまづ電子図書館

2022年　10月号

（令和４年10月１日発行）

多様な性を考える～誰もが自分らしく生きることができる社会にするために～

沼津市では、10月22日に【性の多様性シンポジウム】を開催します。このことに伴い、市立図書館本館1階に、10月6日からLGBT特集コーナーを設置します。

2015年、東京都渋谷区と世田谷区が、同性カップルを自治体が証明したり、宣誓を受け付けたりできる「パートナーシップ制度」が開始したことで、日本でも身近な言葉となった「LGBT」（または「LGBTQ」「LGBTQ+」）ですが、現在でも、偏見や心ない言葉を恐れてカミングアウトできない人や傷ついている人が世界中で多くいらっしゃるのが現実です。

この機会に、LGBTについて理解を深め、性の多様性を認めることで、全ての人が本当に好きなもの、好きな人を大切にし、「自分らしく」生きることができる社会にしていきましょう。

【性の多様性シンポジウム】
参加申込みはこちら

※ LGBTQ+とは、性的マイノリティの方を表す総称のひとつです。
L（レズビアン）：女性同性愛者
G（ゲイ）：男性同性愛者
B（バイセクシュアル）：両性愛者
T（トランスジェンダー）：生まれた時の性別と自認する性別が一致しない人
Q/Q+（クエスチョニング）：自分自身のセクシュアリティを決められない、分からない、または決めない人等

読書週間（10月27日～11月９日）関連イベントのご案内

【講演会】歴史の中の人間を描く～頼朝執筆秘話、時々ぬまづ～

講　　師　歴史小説家　秋山香乃　氏
日　　時　11月６日(日) 13:30～15:00
会　　場　4階視聴覚ホール
申込受付　10月12日(水)9:30～
　　電話・電子メール・図書館カウンターにて

【企画展】歴史小説の中のぬまづ

10月6日(木)～11月13日(日)　４階展示ホール
※10月17日・24日・31日、11月2日・7日は休館

【講師 秋山香乃さん】

1968年北九州市生まれ。2002年『歳三生きてまた』でデビュー。静岡新聞にて『頼朝　陰の如く、雷霆の如し』を連載中('22年３月～)。沼津市在住。夫は同じく歴史時代小説家の鈴木英治氏。

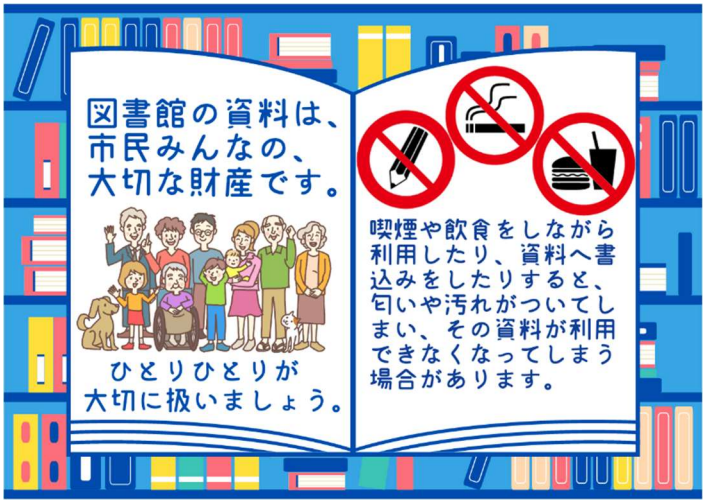
図書館からのお願い～資料は大切に扱いましょう～

図書館の資料は、市民の皆様が利用する大切なものです。

本への書き込みや喫煙による匂い移り、飲食での汚れがあると利用できなくなってしまいます。

また、衛生管理上の理由により、お子さんやペットがかじってしまった資料は、それ以外の部分が綺麗な状態でも、利用できない資料になってしまいます。

図書館にあるすべての資料を、一人でも多くの利用者さんに楽しんでいただけるよう、御協力をお願いします。



今むかし豆ちしき～文学作品に登場する場所や建造物について～

戦国時代の沼津周辺は、今川氏、後北条氏、武田氏が争奪戦を繰り広げた境目の地で、数多くの城が築かれました。今回はその中から大平新城を紹介します。

大平新城は大平地区にある山城。清水町にある戸倉城が武田氏に奪われてからは、後北条氏の最前線の城として機能していました。武田信玄と徳川家康に攻められ、駿河と三河から追われた今川氏真が身を寄せた城として知られています。

氏真は沼津大平郷の大平城へ入った。戦地を通過するため、無事に入場できるよう、家康が兵を出してくれた。・・・・・・・・・中略・・・・・・
大平城は東方から見ると三角握り飯のような小高い小さな山に建つように見えるが、大平山に峰続きに続く連郭式縄張りで東西に細長い。規模は小さく全長で一町余り(百二十メートル)ほどだが、賤機山城を彷彿させる城である。
この大平城で、今後は武田勢と対峙していくことになる。
（秋山香乃著 「氏真、寂たり」静岡新聞社 p298）

大平新城(おおひらしんじょう)

隣接する大平古城とともに後北条氏が築いた山城。
武田氏との間で数度の合戦がありました。
天正 18 年(1590 年)豊臣秀吉による小田原攻めで廃城となりました。

おすすめ資料紹介

新着もあります^U^

1階一般フロアのオススメ

『さざなみの彼方』

佐藤 雫 // 著 集英社 2022.5

浅井長政とお市の長女として生まれた茶々(淀殿)は二度の落城により、幼くして両親を亡くす。そんな彼女を一生守ろうと、乳母子の大野治長は心に誓う。しかし、茶々は豊臣秀吉の側室になることが決まり……。悪女で有名な淀殿のイメージを覆す歴史恋愛小説です。

1階児童室のオススメ

『おひさまやのハンカチ』

茂市 久美子 // 作 よしざわ けいこ // 絵
講談社 2022.6

おおなわとびが苦手な主人公「さりな」ちゃんが、「おひさまや」というウサギがやっているお店で、なわとびではなくハンカチを買いました。なぜ、なわとびではなく、ハンカチを買ったのか？そこには深いわけがありました。心温まる1冊です。

2階郷土コーナーのオススメ

『写真集 明治大正昭和 沼津 ふるさとの想い出』

小野眞一 // 編 国書刊行会 2022.5

沼津市は、大正 12 年(1923 年)7 月 1 日に沼津町と楊原村が合併して誕生しました。来年は市制 100 周年を迎えます。沼津が東海道の宿場として栄え、発展してきた、今では見ることのできない風景がたくさん紹介されています。なつかしい沼津のまちをぜひご覧ください。

3階 AV フロアのオススメ

『岩合光昭の世界ネコ歩きスペシャル ～津軽の四季～』

岩合 光昭 // 出演 NHK エンタープライズ 2020.11

動物写真家・岩合光昭が世界中のネコを撮影して歩く人気シリーズ。1年にわたり青森津軽地方に通い、四季折々、この地でたくましく生き抜くネコたちの姿を撮影しています。満開の桜の下で遊ぶネコ、田んぼで遊ぶのが大好きな茶色ネコ、夏の花火を堪能するネコ、リンゴがたわわに実る畑で戯れるネコ等、様々なネコたちの様子をお楽しみください。